

教科名	科目名	履修区分	履修条件	期別	学年
理数	自然ガイド入門	選択	なし	通年	2
単位数	定期試験	教科書	副教材		
2	なし	なし	なし		

学習の目標と評価の方法、評価規準

目標 (評価)	知識及び技能 (知識及び技能)	思考力、判断力、表現力 (思考力・判断力・表現力等)	学びに向かう力、人間性 (主体的に学習に取り組む態度)
方法	授業：試験：課題 = 1：0：1	授業：試験：課題 = 1：0：1	授業：試験：課題 = 1：0：1
評価基準	A ガイド実践に必要な情報の理解から基本的な知識を身につけ、他者にわかりやすく伝えるために必要な資料を制作することができる。	ガイド実践をするために適切な解説を考えたり、相手の立場を考え表現することができる。	自ら進んで地域の人材や環境、生物に興味・関心をもち、主体的に物事に取り組み、応用することができる。
	B ガイド実践に必要な基本的な知識を身につけ、他者に伝えるために必要な資料を制作することができる。	ガイド実践をするために適切な解説を考えたり、作品をとおして表現することができる。	地域の人材や環境、生物に興味・関心をもち、物事に取り組むことができる。
	C ガイド実践に必要な基本的な知識を身につけようとする。また、他者に伝えるために必要な資料を制作しようとする。	ガイド実践をするための解説を考えようとする。	地域の人材や環境、生物に興味・関心をもち、物事に取り組もうとする。

※方法について・・・授業は授業内の活動や記録、試験は定期試験や実技試験、課題は授業外の活動や記録を示す

学習計画

学習評価

	月	単元	具体的な学習内容	学習評価		
				知	思	主
前期	4	オリエンテーション	自然ガイドの役割と必要な技能 アイスブレイク等によるコミュニケーションワークの体験			
	5	地域の歴史	外部講師による標茶高校と標茶町の歴史について 敷地内フィールドでの自然環境観察と図鑑の活用方法			
	6	自然環境調査	グループでの自然環境調査(草本、樹木、野鳥、昆虫など) ガイド資料およびガイドマップの作成			
	7	インタープリテーション	インタープリテーションの基礎 外部講師による環境学習会に向けたインタープリテーション講習			
	8	プログラムデザイン	自然体験型環境学習会に向けたプログラムデザイン 野外活動に関するリスクマネジメント			
	9	環境学習会の実践	プログラムや進行に関する教材・教具と書類の作成 小学生に対する環境学習会「自然は僕らの学校」の実践			
後期	10	タンチョウを知る	グループでのタンチョウに関する基礎的な知識に関するゼミ学習 3年次自然ガイド応用生徒によるタンチョウプログラムの体験			
	11	タンチョウを観る	外部講師による出前授業 野外セミナーでのタンチョウの観察と立場の異なる見方の理解			
	12	タンチョウを伝える	ガイド資料作成・補助作品制作 タンチョウのしぐさの解説トレーニング			
	1	タンチョウガイド実践①	ガイド原稿や資料、教具の作成 鶴居村観光客に対するタンチョウガイドの実践①			
	2	タンチョウガイド実践②	ガイド実践①の反省とガイド原稿や資料、教具の見直し 鶴居村観光客に対するタンチョウガイドの実践②			
	3	ガイドとは	自然環境と観光 インタープリテーションとガイド			

授業時数計(予定) 70

※学習計画は学校行事や担当の出張などにより変更場合があります。

<キャリア教育の重点項目>

○人間関係形成・社会形成能力

○自己理解・自己管理能力

質の高い学びのサイクルを通して、自ら新しい学びを見つけ、その学びを続けることができる。

○キャリアプランニング能力

○課題対応能力

主体的に課題を発見し、解決に当たって他者と協力するとともに、リーダーシップをとることができる。

<補足説明> 履修条件や必要物品、学習内容に関わる連絡など

2年次に『自然ガイド入門』を履修しなければ、3年次の『自然ガイド応用』を履修することができません。

インタープリターズキャンプ、環境学習会、タンチョウガイド関係は休日に行います。受講必須です。

<自己評価> 学習の目標と内容の評価を参考に、自分自身がこの科目で何が身につけ何ができるようになったか